

以下、本文-----

個人の健康づくりの意識・行動等と生活習慣病受診行動に関する疫学研究（横断研究）

1. 研究の対象

以下の①②③の全てを満たす方

- ①2016年4月～2019年3月に全国健康保険協会（協会けんぽ）沖縄支部に加入していた35歳以上75歳未満（当時）の方（被保険者本人）
- ②2016年4月～2019年3月に健康診査（生活習慣病予防健診）を受診した方
- ③2019年に全国健康保険協会（協会けんぽ）沖縄支部が実施した重症化予防事業の被保険者への健康づくりの意識・行動等に関する実態調査に協力いただいた方

2. 研究目的・方法

高血圧および糖尿病は循環器系疾患（虚血性心疾患、脳卒中）などの主要な危険因子であり、生活習慣との密接な関連ゆえに生活習慣病と称されています。生活習慣病はほとんど自覚症状がないために健康診査で発見されることが多いものの放置されている例が少なくありません。そこで、全国健康保険協会沖縄支部が保有する調査や健康診査等のデータを用いて、健康診査で生活習慣病が見つかった者を対象に、個人の健康づくりの意識・行動等の特性の違いで健康診査後に速やかに医療機関を受診した頻度を比較することによって、生活習慣病を有する者が医療につながる要因を明らかにします。

研究期間は、研究機関の長の許可日から2025年3月31日までです。

3. 研究に用いる情報の種類

- 1) 重症化予防事業の生活習慣病を有する被保険者向け質問票調査（2019年度実施）：職種、勤務形態・時間、健康づくり情報入手、健康づくり相談、生活習慣病の病識・通院状況・受診（または未受診）理由等
- 2) 健康診査（2016～2018年度のいずれか）とその前年度）：年齢、性別、問診項目（循環器系疾患の既往歴、生活習慣病の内服状況、生活習慣、健康づくりの意識）、肥満度、血圧、血液生化学検査項目（血糖、血清脂質等）、健康診査受診年月
- 3) レセプト（2016～2018年度のいずれか）とその前年度）：高血圧、糖尿病および脂質異常症に関する医療機関受診状況（受診2ヶ月後に相当するレセプト受付年月）

※個人を識別する情報（氏名、住所、生年月日等）および事業所を識別する情報（名称、住所等）は、データ解析を行う琉球大学へは提供されません。

※集団での集計結果を提示するのみで、個人および事業所の単位での結果を提示しません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので、お申出下さい。

また、情報が本研究に用いられることについて研究対象者（被保険者本人）もしくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも被保険者本人様に不利益が生じることはありません。但し、データ解析を行った後でのお申出には応じかねる場合があります。

研究への情報利用を拒否する場合の連絡先：

全国健康保険協会（協会けんぽ）沖縄支部

企画総務グループ 渡口 浩樹

那覇市旭町 114-4 おきでん那覇ビル 8 階

電話 098-951-2246

研究に関する照会先：

琉球大学大学院医学研究科 公衆衛生学・疫学講座 中村 幸志（研究責任者）

中頭郡西原町字上原 207 番地

電話 098-895-3331(代)

5. その他

本研究は、全国健康保険協会（協会けんぽ）沖縄支部から琉球大学への委託（資金の供与なし）として実施されます。琉球大学において本研究以外の目的にデータが使用されることはありません。

本研究にかかる費用は琉球大学の運営費交付金で賄われます。

作成日 2024年3月8日 第1.2版

-----以上